

平成25年度予算見積調書

課室名：農業支援課
 担当名：普及活動担当
 内線：4048

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B38	6次産業化ネットワーク活動推進事業		一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	普及活動推進費	
事業期間	平成25年度～平成27年度	根拠法令	農業改良助長法、地域資源を活用した農林漁業等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律		戦略項目	08 埼玉農業の競争力強化		
					分野施策	030201 収益力ある農業の確立		
1 事業の概要			5 事業説明					
従来の生産に加え、加工・製造、流通・販売まで農業者が主体的に関わる農業の6次産業化のさらなる推進のため、農業者、食品事業者、流通業者、金融関係者等の人々とのネットワークを構築し、魅力ある商品開発と販路開拓の支援を行う。 (1) 6次産業化研究会事業 4,116千円 (2) 6次産業化支援事業 2,276千円			(1) 事業内容 ア 6次産業化研究会事業 4,116千円 農業者、食品事業者、流通業者、金融関係者等からなる4つのテーマ別6次産業化研究会及び地区6次産業化研究会を設置し、商品開発や販売戦略の検討、現地視察や実習を実施する。(4月～3月) イ 6次産業化支援事業 2,276千円 上記研究会の戦略を実践するため、今後成長が期待される12事業者に対し、普及指導員による強力なテコ入れを行い、技術指導や専門家派遣、講習会開催による支援を行う。(4月～3月) (2) 事業計画 ア 目標 農業の6次産業化を推進し、農業経営体の収益性を高める。 イ 達成水準 重点支援対象事業者の農産加工品年間販売額 3億円(平成27年度まで) 6次産業化による新商品100品目を開発する。(平成27年度まで 毎年度10品目) ウ 計画 5月 6次産業化研究会の設置(テーマ別、地区別) 5月～3月 研究会による先進事例の研究、戦略の検討、関係者のマッチング 5月～3月 普及指導員による技術指導の実施 2月～3月 試作品の評価・助言 (3) 事業効果 農産加工品の種類や生産量が増え、また品質が向上し、農業経営体の競争力が強化される。					
2 事業主体及び負担区分								
(1) (国1/2・県1/2) (2) (県10/10)								
3 地方財政措置の状況								
普通交付税(単位費用) (区分) 農業行政費(細目) 活性化推進特例費 (細節) 活性化推進特例費								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×9人=85,500千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
			国庫支出金					
決定額	6,392	2,058					4,334	1,202
前年額	5,190						5,190	